



# 議会だより

# なよろ

8  
NO.

2008.4.1 発行



「ふうれん冬まつり」に向けて元気よく雪像づくりに励む風連中央小 2年生の仲間たち



(上)  
ゴールめざして  
関門通過  
市民スキー大会  
(3月16日)



クロスカントリーで力走する女子選手

## 第1回定例会

主 な 内 容	● 定例会で決まったこと	2
	● 特別委員会・議会改革にGO!	3
	● 代表質問に5人・議員協議会・用語解説	4~8
	● 一般質問に12人	9~14
	● 各委員会の報告	15
	● へこたれない・議会日誌・編集後記	16

# 第1回定例会 2月25日から3月14日の19日間

## 新年度全会計で375億2211万9000円を可決 基金6億円余を取り崩す 19年度補正予算で認定こども園を整備

平成20年第1回定例会は、2月25日から3月14日(新年度の予算審査特別委員会は11日から14日)まで開かれました。

議案等の審議では、平成20年度予算など議案審議で38件、委員会報告14件、意見書案8件、人事案件1件、報告2件が可決されました。

新年度の市政執行方針を受け、5日・6日の代表質問には5人、6日・7日・10日の一般質問には12人の議員が市政の課題などについて質問しました。

### 主な条例 ▶▶▶▶▶▶▶▶

名寄市後期高齢者医療に関する条例の制定

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障がいがあると認定された方を対象に、今年4月1日から実施されます。

保険料は、原則、介護保険料と同様に、年金から自動的に納付されますが、年金受給額が年額18万円未満の方、年度の途中から後期高齢者医療制度に移行する方などについては、納付書や口座振替の方法により納めることになることから、保険料の納期など名寄市が行う事務に関し必要な事項を定める条例を、原案のとおり可決しました。

名寄市特別養護老人ホーム条例の一部改正

名寄市風連特別養護老人ホームしらかばハイツの管理運営を、平成20年度において名寄市社会福祉事業団等へ移行することから、条例の一部を改正するもので、原案のとおり可決しました。

### 主な補正 ▶▶▶▶▶▶▶▶

認定こども園施設整備交付金

平成21年4月1日から中央保育所を廃止し、学校法人大谷学園が名寄大谷幼稚園北側に「名寄大谷認定こども園」を開設するために、施設整備交付金として、8665万5000円の予算を追加しました。この交付金には、国からくる次世代育成支援対策施設整備交付金5777万円が含まれています。

### 人事案件 ▶▶▶▶▶▶▶▶

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

古瀬 和之氏(再任)

名寄市風連町字瑞生2513番地

猿谷由利子氏(新任)

名寄市西2条南6丁目28番地

### 審議日程

	10日(月)
2月25日(月)	・一般質問
・開会	11日(火)
・委員会報告	・予算審査特別委員会
・市政執行方針	12日(水)
・教育行政執行方針	・予算審査特別委員会
・議案の審議	・議会運営委員会
・意見書案の審議	13日(木)
・予算審査特別委員会	・予算審査特別委員会
3月5日(水)	14日(金)
・代表質問	・予算審査特別委員会
6日(木)	・委員会報告
・代表質問・一般質問	・追加議案の審議
7日(金)	・意見書案の審議
・一般質問	・閉会

### 可決された意見書

- 道路特定財源確保に関する意見書
- 2008年国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率2分の1復元等教育予算の拡充を求める意見書
- 地域医療の確保に関する意見書
- 介護労働者の待遇改善を求める意見書
- 公立病院の広域化・連携構想案の抜本的見直しを求める意見書
- 石油製品の高騰から暮らしと営業を守る要望意見書
- 北海道の消防広域化に関する意見書
- 輸入食品の検査検疫体制の抜本的強化を求める意見書

## 平成20年度 予算審査特別委員会 全会一致で原案可決

3月11日～14日

平成20年度予算特別審査特別委員会（谷内司委員長・高橋伸典副委員長 全議員で構成）は、3月11日～14日までの4日間にわたり開かれ、第1回定例会で付託された平成20年度一般会計予算案、同国民健康保険特別会計予算案をはじめとする9特別会計予算案、同病院事業会計予算案など2企業会計予算案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

市の20年度案は、一般会計で前年度比1.1%



谷内 司委員長（左）と高橋伸典副委員長

減の184億8419万3000円、特別会計と企業会計を含む全会計総額375億2211万9000円（前年度比6.1%減） 加えて風連特別区予算で7078万2000円（同0.5%増）となり、2月25日の定例会で全議員構成による予算審査特別委員会に付託となった。

同委員会は、3月11日から4日間にわたり、一般会計は15の款別に審査したあと、歳入全般、特別会計、企業会計について議論が交わされた。

市民ニーズに応えた事業を展開するため、財政調整基金から4億4000万円を繰り入れて組んだ20年度予算に対して、財政状況の厳しさが強調されたものの、市民の期待する市政展開を求める質問も続出。午前10時に開会にして閉会が午後6時近くになる日が続くなど、まさに白熱した質疑の連続だった。

最終的には、反対の意思表示が一部であったものの、平成20年度一般会計予算案をはじめ全会計予算案を原案のとおり可決すべきものと決し、3月14日の本会議に報告した。

## 議会改革にGO！

### 対面方式を採用

#### 議会改革調査特別委員会

これからの議会のあるべき姿を検討する議会改革調査特別委員会（高見勉委員長、13人で構成）が1月23日、5回目の委員会を開き、定例会の代表質問・一般質問の際、質問席を設け対面方式で行うことに加え、常任委員会視察の道内視察を1回減らし、任期中に道外視察2回、道内視察1回とすることなどを決めた。

各会派からの提案事項をもとに検討を加えている同委員会ではこの日、第1回定例会のあり方、対面方式について、委員会視察について、政務調査費についてを議題に協議を行った。

この結果、新年度の市政執行方針等が示される第1回定例会では、従来どおりに代表質問と

一般質問を行うが、一般質問については会派構成議員数に応じて上限枠を設ける。各定例会の代表及び一般質問の際は、真しな議論を行うため議席中央前部に質問席を設け、再質問以降の質疑を行う。各会派に支給（議員1人に対し月額1万円）される政務調査費は現行のままとするが、常任委員会の視察は道内1回とし、任期最終年には実施しないことなどを確認した



新たに設けられた質問席

代表質問

財政運営と病院経営

市政クラブ 黒井 徹 議員



20年度市政執行の課題

問 市民ニーズに応えた財政運営が困難となる中、参画と協働のまちづくり、行政改革の推進等の基本的な考え方と、組織のスリム化や事務事業の見直しについて。

答 情報公開をするとともに、市民委員会を設置し、総合計画の進行管理と外部評価に取り組むほか、機構の見直し、統一されていない43本の事務事業の統合を早急に進める。職員数は、二桁退職の場合は7割補充、一桁退職では6割補充を基本とする。分庁方式については、一部に意見はあるが、しばらくは維持する。

市立総合病院について

問 赤字運営が続いている病院の医師、看護師確保状況は。また、自治体病院の広域連携で浮上している名寄市立病院との経営統合は困難と考えるが、市の今後の対応は。

答 循環器内科と脳神経外科で1人ずつ増となり、精神科も常勤医2人体制が維持できた。看護師についても確保できたが、秋ごろから稼働するICU病棟を考えると足りないため、年度途中の採用もしたい。士別市立病院との連携協議については、昨年11月から行っているが、果たす役割の共通認識だけは確認した。しかし、医師確保は設置者だけで問題解決ができない。旭川医大、道を含めた4者の連携協議がないと方針は出せない状況だ。今後も引き続き協議を重ねていく方針。

中心市街地活性化の取り組みについて

問 中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、設立検討会を開催しているが、協議内容は。

答 街なか居住を含め、コンパクトなまちづくりを目指し、実行性の高い事業計画を立てたい。

他の質問・農業の担い手支援事業推進・学力向上対策の取り組み強化・学校給食のあり方ほか



士別市立病院との経営統合案が浮上している名寄市立総合病院

議員会新年研修会

1月11日開催

知的財産を生かせ！

市議会議員会(田中之繁会長)主催の新年研修

名寄市立大学白井教授を迎えて



会が1月11日、白井暢明名寄市立大学教授を講師に迎えて行われた。

白井教授は「知的財産を生かした名寄のまちづくり」と題し、開学2年目を迎えようとしている名寄市立大学の活用を強く訴えた。

全議員で構成する議員会では、議員個々からの積立金により、新年研修会や宿泊研修等を企画し、資質向上や親ばくに努めている。この日、白井教授は地域に開かれた大学であることを改めて強調するとともに、有効活用を訴え、各議員も熱心にメモを走らせていた。

代表質問

学校統廃合の手順は

市民連合 高見 勉 議員



総合計画と中期財政計画について

問 総合計画の前期5年間の実施計画を、議会や市民に明らかにすべきでないか。また、実施計画と財源の整合性を図る上からも中期財政計画を見直すべきでないか。

答 実施計画は、向こう3ヶ年分の計画を調整し、毎年度実施している。今後、協働のまちづくりを進める上でも、計画を公開し情報共有化を図りたい。また、中期財政計画は10月頃までに見直しを行い提示したい。

小中学校の適正配置と学校施設整備計画

問 市内小中学校の適正配置計画の答申を受けて、教育委員会として具体的にどのように取り組みを進めるのか。また、老朽化した学校教育施設の整備をどのように進めていくのか。

答 適正規模及び配置に関する基本方針と小中学校適正配置計画を早急に策定し、具体的な検

討を進める。現段階では適正配置の対象校ごとに個別の実施計画を策定して統廃合を推進することとし、これと併せて保護者、学校、校区の住民による協議会を設置して十分な検討期間を確保し、共通理解を得て進める考えでいる。また、学校教育施設整備計画は配置計画と連動させて策定し実施に移していきたい。

地域医療と市立総合病院について

問 自治体病院広域化・連携構想で、土別市立病院との経営統合の報道に接しているが、これは土別市の一方的な願望なのか。まずは、経営基盤の確立を優先すべきではないか。

答 昨年からの協議をしてきたが、医師確保が明確にならない中での経営統合は、成果が表れないため難しい。両病院の協力体制については可能な限り実施していきたい。また、20年度中に経営効率化、健全化に向けた改革プランを策定し、運営基盤の強化を図っていく。ほか3件



築36年が経過した南小学校

議員協議会

後期高齢者医療制度学ぶ

今年4月からスタートする「後期高齢者医療



制度」について1月21日、議員協議会が開かれた。

これまで

75歳以上の人は国民健康保険や被用者保険などの医療保険制度に加入しながら老人保健制度で医療を受けてきたが、今年4月から新しく創設される後期高齢者医療制度に基づき医療を受けることになる。これにより、新たな条例制定の必要性も出てくることなどから、各議員の制度に対する理解を深めるため開催となったもので、制度の概要や制度に対応した国保税賦課のあり方を協議した。

代表質問

厳格な債務進行管理を

凜風会 川村 正彦 議員



合併特例債の活用は

**問** 合併特例債は10年で76億円程度と見込まれるが、計画的な借入とそれに伴う償還計画の進行管理の見通しは。

**答** 平成18年度では、風連児童会館整備など4事業で2億850万円。19年度見込みでは、市街地再開発、戸籍電算化など11事業で3億2710万円。20年度当初予算では、天文台整備、市立総合病院整備など7事業で6億8450万円を予定している。20年度までの総額は12億2010万円で、今後の中期財政計画で、21年度から23年度までの3年間では、およそ17億円を見込んでいる。有利債ではあるが、将来の返済も考えて、真に必要な事業に絞って後期計画に盛り込みたいと考えている。

閉校後の風連高校は

**問** 改築を予定している風連中学校は、風連高

校々舎への移転を選択肢の一つとして検討されている。今後、父母や地域の声をどのように聞いて市民理解や地域合意を得るのか。

**答** 今年に入り、特例区協議会、風連中学校区の3小学校PTAの役員会等で意見を伺った。合併前の風連町で策定した小中連携教育構想「風夢プロジェクト」<sup>1</sup>への対応など、多くの貴重な意見を踏まえて具体的な方向性を3月の教育委員会で定めたい。さらに、十分な地域合意を得るための協議をする中から、結論を見出したい。併せて築35年以上を経過した風連中央小学校の改築についても、策定予定の学校施設整備計画の中で検討していく。

**他の質問**・地域自治区への移行・消防広域化への名寄市の対応・特養しらかばハイツの民営化・風連市街地再開発・図書館及び図書室の充実



10人の卒業生が大きな夢を抱いて巣立った風連高校（3月1日）

雪像づくりに挑戦

絶好の冬晴れに恵まれて、第24回風連冬まつりが、2月9・10日の2日間開催されました。風連町時代から議員会も雪像づくりを続けていましたが、合併後の新しい議員会でも雪像づくりに挑戦しました。青空の下、大勢の子どもたちが「ミッキーマウスの滑り台」で飽きることなく遊ぶ姿に、製作の苦労も忘れるひと時でした。



子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、雪像づくりに挑戦

代表質問

安心な学校給食体制を

緑風クラブ 中野 秀敏 議員



有利債活用を視野に

**問** 学校給食供給施設整備についての内容は。

**答** 炊飯・パン製造に携わっている委託業者から、工場及びパン製造機ともに約50年を経過し老朽化が顕著なことから、今後、衛生面に配慮した安全・安心な学校給食を継続していくために市の遊休施設の貸与、パン製造機の購入補助要請があった。教育委員会としては、学校給食法第6条に基づき学校給食の実施に必要な施設として、市が直接整備し、引き続き現在の業者に業務を委託することで検討していきたい。具体的には、旧風連給食センターの利用を考えている。

しかし、築33年を経過していることから、施設を再点検して、長期間活用できるか調査する。

また、パン製造機は2000万円の費用がかかる

ため、財政面での協議も必要で、内容がまとまり次第、合併特例債などの有利債活用も視野に補正予算で対応したい。

行財政改革が不可欠

**問** 21年度以降の予算編成作業は、どのように見直しをかけるのか。

**答** 現行の予算編成については、総合計画のローリング作業 各課での予算編成作業 財政課長査定 総務部長、副市長査定 市長査定の順で行っている。しかし、平成21年度以降の予算編成は、各部ごとに一般財源ベースで一定の上限枠を設定する手法を検討している。いずれにしても、歳入の伸びが見込めない中では、組織のスリム化など、行財政改革の推進が不可欠であり、しっかりと取り組んでいく。

**他の質問**・市政執行方針について・行財政改革について・農業振興について・住宅と道路整備についてほか



米飯・パン製造施設に予定している  
旧風連町学校給食センター



滑り台では終日子どもたちの  
歓声が響いた



代表質問

今後の土地改良事業は

清風クラブ 谷内 司 議員



風連駅前通りの改修事業は

問 車道、歩道とも亀裂や水たまりができ、危険な状態で車椅子の通行ができない所が風連駅前通りにある。18年度から、駅前7箇所地下調査が始まったが、街路灯、市街地再開発事業との連携を含めて、今後の予定は。

答 平成18年度から北海道は、原因の調査を実施している。凍害の影響を受けたものではないと判断し、20年・21年度で風連停車場線の歩道改良と車道の全面補修を実施する。

また、22年度以降は朱鞠内風連線を実施するが、本工事着手前に地域関係者への説明会を開く。

農業、農村整備事業は

問 農業所得は毎年低下しており、農業経営は大変厳しいものがある。担い手の育成も進まず経営も不安定であるが、名寄東地区で離農跡地

を守るため、道営経営体育成基盤整備事業が総事業費30億円で平成21年度から5年間計画されているが、パワーアップ事業も22年度で終わる。その後の考えは。

答 名寄本線の廃止で跡地の整理や農地の集積が進んだことで、東地区において整備事業の必要性が出てきた。受益個数8戸、面積264㌥で、区画整理や暗渠排水、用排水路、農道、そして換地事業をする。財源は国50%、道32.5%、受益者17.5%。事業費の大部分がパワーアップ事業から外れるので、農家負担が大きくなることから、パワーアップ事業の継続か、それに代わる制度の創設を道に要望する。また、土地改良区、JAと協議して助成はする。

他の質問・風連日進9線道路と木橋の整備・名寄市墓地の使用料の一本化・同墓地の管理や不明者について・全国大会やオリンピックに出場する選手への対応



年間を通して進められている暗渠排水事業

用語解説

1 風夢プロジェクト

旧風連町時代の平成17年度に策定されたもので、風連地区の小・中学校連携教育構想を示している。「風連っ子のよさ」「連携のすばらしさ」「教職員の熱意」の風連の3特性を生かした学校教育総合計画と言える。学校経営、生徒指導、学習指導、国際理解教育にかかわり、小・中連携した学校経営の推進 小・中連携した子育て支援体制の確立 小・中連携した確かな学力の定着 小・中連携し

た愛郷心の育成「ふるさと学習」 小・中連携した国際感覚の醸成「英語活動」を柱に10項目の取り組みが示されている。

2 J-アラート

有事や災害に備え、津波や緊急地震速報、大規模テロなど18種類の情報が消防庁と衛生を経由して、自動起動する市町村の同報無線から住民に提供されるシステム



一 般 質 問



**地域振興施策について**

まちづくり  
渡辺 正尚 議員

**商店街振興策について**

**問** 今春開店する大型店に対抗するため、地元商店街には顧客のターゲット化が必要だ。その中で高齢者は、地元の商店を愛しており、そこを目標に行動することが大切と考える。

そのためには、高齢者の意向調査が必要であるが、2月に開催された住民ニーズに基づいた公共交通のあり方研究会で、住民意向アンケートをすることとなり、今秋には調査結果が出る。同調査を活用し、地元商店街が行動するように望みたい。

**答** 商店街自ら計画を持ち、実施する真剣な対応が望まれているので、商工会議所・商店街連合会と協議しながら、商業振興施策を推進する。

**入札制度と建設業関連**

**問** 新年度から条件付一般競争入札が導入されるが、公開はされるのか。また、条件付のほかに、公募型の導入は考えているのか。地元の建設業者に競争力や技術力を伸ばすような支援が必要ではないか。

**答** 条件付一般競争入札の公開は考えていない。公募型は限られたものはしている。また、人材確保、技術者養成にも努めたい。

**他の質問**・農業振興策について・教育行政施策について・進出企業とのかかわりについて



振興策が進められている商店街



**徳田周辺の交通安全体制**

公 明  
高橋 伸典 議員

**行財政改革の推進**

**問** 総務省の新地方行革指針の中で、集中改革プランが示された。国は、地方自治体の職員を2010年には4.6%以上の純減となるよう、行財政改革推進法を公布施行したが、取り組み状況は。

**答** 病院を除く職員定数の適正化計画では、平成18年度552人を同23年度には497人に削減。20年から3年間で39人削減を予定している。

**徳田周辺の安全対策は**

**問** 4月の大型店オープンで徳田周辺の交通量がさらに増え、子どもや高齢者の交通事故を心配する声が出ている。交通安全対策は。

**答** 徳田地区の交通量実態調査では、平日で約7800台、休日ではショッピングセンタ と娯楽

施設利用などを目的に約9300台の車輛が通行している。4月下旬の大型店オープンにより、車両の増加が予想されるため、安全対策として看板設置による注意喚起、さらにドライバーへ安全運転への協力を呼びかける。大型店に対しても、交通整理員の配置や物資輸送などの大型車輛の交通規制、周辺学校の登下校時間帯に配慮した資材運搬などを要望した。大型店に対して事故を起こさないよう、しっかり指導したい。

**他の質問**・給与制度の改革・受益と負担の適正化・経費節減策・特別支援教室等教育行政は



一般質問



安心できる医療制度を

日本共産党  
川村 幸栄 議員

市立病院の診療充実

**問** 道は、医師不足や財政悪化を理由に、病院の診療所化や縮小を進めている。また、自治体病院の効率化・広域化を図っているが、市の対応は。人工透析の拡大、医師の負担軽減にもつながる助産師外来の新設を。

**答** 市町村での検討が優先。透析患者の負担軽減は大きいと考えるが、医師2名体制では過重負担となっている。さらなる医師確保が課題。産婦人科外来には、助産師2名を配置している。

国保税の見直し

**問** 年寄りいじめの後期高齢者医療制度は中止してもらいたいが、制度実施等で見直しが進んでいる国保税について、前期高齢者交付金など

を使って引き下げるべきではないか。また、前期高齢者（65～74歳）の年金天引きについても早めの周知を。

**答** 制度改正の最初の年。手厚い交付金（約9億円）となっている。純粋な財源としての扱いには不安な要素もある。2年後の清算を視野に入れた財源として活用したい。

**他の質問**・道路特定財源の一般財源化・コープさっぽろの進出と中心市街地活性化



誰もが安心できる医療制度を



防災計画整備について

市政クラブ  
佐々木 寿 議員

災害対策について

**問** 災害や有事に備え、J-アラート<sup>2</sup>の導入及び生活物資・施設の協力協定を結んでおくべきと思うが、考え方は。

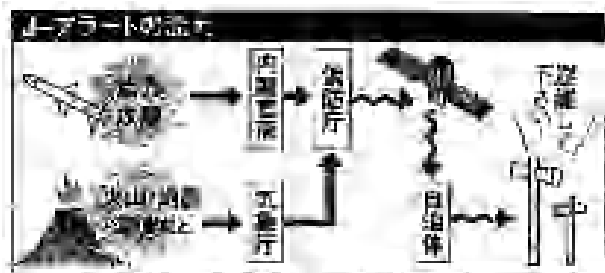
**答** J-アラートの導入は、現時点では受信装置と同報系防災行政無線が整備されていないこと、多額の費用も要することから導入する環境にはないが、先進例などを参考にしばらく研究したい。被災者に対する応急物資の供給は有効であり、道と協定のあるコンビニをはじめ、地元出店予定の大型店からの申し入れによる相互協定の締結、百貨店からの供給協力などで対応は整備されつつある。衛生管理面から浴場の確保も検討していく。

自衛隊関連について

**問** 退職自衛官の就職援護状況は。また、防衛施設周辺整備事業の実情は。

**答** 現在、嘱託職員として52名の勤務をいただいている。今後も名寄市を支えるマンパワーとして、募集時は多数応募いただきたい。また、防衛施設周辺整備事業は、昭和42年から民生安定と障害防止対策事業として継続されており、この10年間で補助額にして約6億円の助成を受けている。今後も継続要望していく。

**他の質問**・市職員の勤務及び休暇について



全国瞬時警報システム（J-アラート）

一 般 質 問



**農業、林業の振興施策は**

市民連合  
植松 正一 議員

**地産地消の推進計画は**

**問** 食の安全・安心に対し、消費者ニーズに応える対策は。

**答** 近年、食品の表示偽装、冷凍食品の農薬混入などもあり、健康や食生活に関心度が高まっている。名寄の基幹産業は農業であり、地域で生産された農畜産物は地域で消費し、生産者の顔が見える安全で新鮮な食材が毎日食卓を飾る運動も必要。食育と地産地消を車の両輪として、市民各層による推進体制も構築したい。

**森林の助成と市民参加**

**問** 地球温暖化防止に貢献する森林づくりは。

**答** 森林の持つ公益的機能をいかし、二酸化炭素を吸収させるための取り組みが進んでいない

のが現状。今年、洞爺湖サミットを契機に、美しい森づくり交付金事業、仮称・森林環境税の導入を目指している。また、民間の除間伐の助成などの制度を活用し、情報の収集に努める。さらには、未来を担う子どもたちに小さな時から森に親しみ、木にふれあうことが大事と考えており、子どもを対象とした植樹も実施したい。今後も機会あるごとに、市民の参加を考えたい。

**他の質問・農業振興地域整備計画の進捗状況・森林整備地域活動支援交付金の内容他**



地球温暖化防止に寄与する森づくり



**日本一の星空で**

凜風会  
日根野 正敏 議員

**性能と位置付けは**

**問** 新天文台の望遠鏡、プラネタリウムの性能と国内外における位置付け、さらに運営は。

**答** 望遠鏡は、北海道大学の負担で購入となる。現在設計の段階だが、予定では150センチの口径で今までと比べ、明るさで100倍の性能を持つ。国内での性能順位は、理論値では2位だが、星空の条件等トータルで判断すると、国内随一と言っても過言ではない。

プラネタリウムは、最新のデジタル技術をいかした星空を再現するだけでなく、立体的な空間を作り、宇宙旅行の模擬体験などの多機能な機器を予定している。完成後の運営は現在、北大と協議中だが、応分の負担をいただく。

**「心の食育」推進を**

**問** 食育推進にあたり、今一番大切なことは、自然の恵みと我々の命は多くの命の犠牲の上に成り立っていることを、子どもたちに伝えること。食育推進計画の実行にあたり、「心の食育」をどう考慮し、理解を深めるのか。

**答** 学校給食や農業体験を通じ、生きているものの命をいただくことや自然界の食物連鎖について知り、自然界の中で生きている自分の存在について考え、自然を大切にすることを育み、食べ物を粗末にしない心を育てていきたい。



40年以上風雪に耐え多くの実績を残した市立木原天文台

一般質問



市の変革を求めて

緑風クラブ  
大石 健二 議員

島市政の自己検証を聴く

**問** 島市長は、平成18年3月27日の旧名寄市と旧風連町との合併により、同年4月23日に行われた市長選挙で当選され、新名寄市の初代市長として間もなく在任2年目をむかえるが、初代市長として上半期2年の在任期間を顧みて自己評価をされているのか。また、その自己評価を踏まえた上で、残り下半期2年間の課題と展望に、どのように取り組まれるのか。

**答** この2年間、責任と自覚を持って、合併した名寄市と風連町との一体感のあるまちづくりに努めた。残任期間は、総合計画を基本に両地区の均衡ある発展で市民の負託に応えたい。

名寄市の危機管理体制を問う

**問** 予測された名寄市の不手際、不祥事、事件・事故に対する現状の危機管理体制は、どのようなシステムで構成され、果たして十分に機能するのか。

**答** 限られた組織人員の中で、適正なチェックで取り組みたい。

**他の質問**・ぜい弱な自治体法務に関連して名寄市の法務執務体制を問う・2008年の学校改革による教育基本法の改正に伴い、名寄市の学校力は高まるか



市民が主役のまちづくりが求められる名寄市



市の雪対策

市政クラブ  
持田 健 議員

南地区に雪堆積場を

**問** 現在名寄市の雪堆積場は、北地区に5箇所あるが、南地区にはない。石油類の価格高騰で厳しい財政状況にあり、除排雪地域近郊に雪堆積場があれば燃料等の経費削減につながる。南地区での新設を検討すべき。

**答** 南地区に堆積場が確保されれば、運搬距離が短くなる分だけ燃料費が軽減される。また、排雪費用削減、エコロジーの両面からメリットがあると推測されるため、確保に向けて取り組むことを検討する。

再資源化と費用の節約

**問** ダイオキシン類特別措置法により、現在の炭化センターを建設した。また、リサイクルの

推進においても再資源化を目指し、容器包装リサイクルの対象になる紙製容器を分別収集して再利用できるものは積極的に進めるのが当然。リサイクルや環境対策を十分に行うなかで、これらの費用削減につながるものはないのか。

**答** 循環型社会形成の推進により、廃棄物のリサイクルを中心に取り組んでいる。経費の節約は、廃棄物の減量化が最も効果的。具体的には、ゴミ処理にかかる時間の短縮、燃料・電気料等の削減が考えられる。今後とも、ゴミ減量化の啓発活動を進める。



効率的な市道の排雪作業

一 般 質 問



**元気・安心・信頼を**

市民連合  
熊谷 吉正 議員

**後期高齢者医療制度の見直しを**

**問** 強行成立した制度改悪で将来的に高齢者や現役世代への負担が増し、外来医療の定額払いによる医療の質の低下等が心配される。あらゆる機会をとらえ国などへの見直しを求めよ。

**答** 高齢者は若い人より多くの医療費が必要だ。団塊世代が高齢化すると保険料も上がるので、医療費、年金と併せ国の根幹にかかわる。スタート時点では大きな影響はないが、今後の制度改正、改善に向け市長会等に働きかけていく。

**市民活動の条例制定を**

**問** 元気なまちづくりに、NPO等市民活動の支援が必要だ。条例制定を求めるが、当面は市税条例を生かし市民税等の減免を実施すべきだ。

**答** 市民と協働のまちづくりをするために支援は必要だ。新年度において総合的支援体制確立と条例制定に努力するが、当面の支援策として法人市民税均等割減免を考えていく。

**他の質問** 情報公開条例の見直し、総合計画の年度別実施計画の公開と説明責任を果たすことを求める。名寄大学の現状と課題について、将来構想(経営・管理運営等)と独立行政法人への対応、図書館など施設計画を財政健全化法に関し、公益法人、出資法人に対する出資補助の根拠規程の確立を求める



市民が企画した「ボロ」による公演(2月15日)



**情報が命**

凜風会  
佐藤 勝 議員

**農地情報の一元化を**

**問** 近年、農業経営者の高齢化、担い手不足等により農地の遊休化が心配されている。農地の流動化に向け、売りたい人と買いたい人などの農地情報を一元化し、閲覧可能な仕組み(農地流動化銀行または農地バンク)を農協・農用地利用改善組合を含めて早期に立ち上げるべき。

**答** 売り貸しと、買い借りの両希望者を結びつけるための農地情報の一元化に向け、土地の有効利用と利用集積を進める体制整備を検討する。てしおがわ土地改良区の農地情報システム・地図データを活用することも含め、広く農地情報を提供できるよう農業委員会と体制を整える。

**てっし・風連中継局を**

**問** 地域FMラジオ局「Airてっし」は、地域に密着した生活情報の提供にとどまらず、市内外の災害情報伝達機能をも有し、市民の安全安心の確保のために大きな役割を担っている。現在、瑞生・中央・日進地域を中心に風連地区の約21%・348戸が放送エリア外であり、情報格差をなくすため、早急に風連中継所の設置を求める。

**答** 地形が平坦なため、電波の干渉(電波が重なり聞きづらい状況)があり技術的に困難。

**他の質問** 道の駅の外壁を当初予定の茶系から銀色に変更した理由。名寄の魅力を詰め込んだ政策提案型の「寄付条例」制定を早急に



街角の話題や市民情報を伝え、災害情報を伝えるにも重要な使命を担う地域FM局

一般質問



食の安全、安心について

緑風クラブ  
山口 祐司 議員

中国食材の使用は？

**問** 名寄市において、食事を提供している施設はどのようなものがあり、中国からの輸入食材をどの程度使用しているのか。

**答** 食事の提供施設は、学校給食センターや市立総合病院をはじめ、東病院、清峰園、白樺ハイツ、ケアハウス、なよろ温泉サンピラー、望湖台センターハウス、市立保育所等があるが、当市の各施設では安全、安心、新鮮に気を配っている。特に、学校給食センターでは地場産の使用率が60.2%と高い。さらに使用率を高めるよう努力したい。なお、市の施設では今回の中国産冷凍加工食品を使用していないことを確認した。

「素案」は理解するが

**問** 風連地区で大きな課題となっている住民自治組織移行について、進ちょく状況とコミセンの管理、公民館分館の今後については。

**答** 一部の行政区で「再考」や「保留」の地域があり、地域の調整を行っているが、最終的には10月をめどに審議会の答申を受ける。各地区のコミセンは、自主管理を基本とし、新しい地域組織と協議を進める。公民館分館については、分館長・主事会議や運営審議会で、今後の公民館分館のあり方などについて協議している。



地場産が一番の安全・安心



美しい景観形成を

市政クラブ  
東 千春 議員

統一感あるまちなみを

**問** 名寄市の景観形成に風土色などの発想を取り入れ、一定の統一感をもった美しいまちづくりをめざし、市民・有識者を含めて景観に関する市民委員会を設け、総合的な将来像を描くべきではないか。

**答** 公共の建物や街路、橋梁には色彩など景観に配慮しているが、統一した考え方はなく事業ごとの検討をしている。市独自の規制を図る場合はガイドラインや条例整備が必要である。まちなみ景観を考えることは重要であり、風土色の考えを含めて、市民議論を進めたい。

また、農村部では、農地・水・環境保全向上対策をいかし、環境の維持保全を進める。

建設業の雇用と活性化

**問** 春先は天候が安定し、秋口は雨の確率が高く、土木工事は春に行うことが望ましく、早期発注と共に「ゼロ市債」と呼ばれる債務負担行為での発注は有効であり実施すべきでないか。また、冬期雇用対策として住民リフォーム促進助成事業の一部冬期枠を設けては。

**答** ゼロ市債は単独事業で活用でき、事業内容や条件が合えば実施したい。住宅リフォームは、通年雇用化に向け取り組みたい。

他の質問 市民との情報共有について



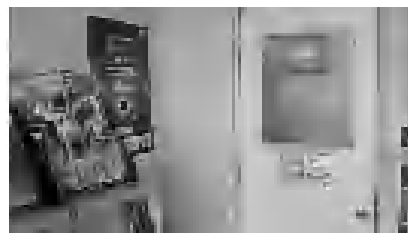
ゼロ市債活用で早期発注を

## 委員会活動をお知らせします

### 総務文教常任委員会

委員会は、平成19年第4回定例会で付託された「公益法人等への名寄市職員の派遣等に関する条例」審査のため、1月25日、2月6日の2回開催した。各委員による熱心な議論の結果、派遣先団体とした特定非営利活動法人なよろ観光まちづくり協会事務局長を

募集している実態から、別表から削る原案の一部修正を行い、本会議に報告した。



なよろ観光まちづくり協会事務局

### 民生常任委員会

平成19年第4回定例会において委員会付託となった名寄市病院事業診療報酬及び介護報酬徴収条例の一部改正について、1月9日・2月8日の2回開催し、慎重に審査を行った。この結果、市立総合病院の経営状況等を勘案し、原案

通り可決すべきものとしたものの、市民や患者への説明責任を十分果たし、理解を求めることを要望した。



増改築が始まった市立総合病院

### 経済常任委員会

新しい年を迎え、2月12日及び22日に委員会を開催し、道の駅事業の進ちょく状況、名寄市市街地活性化基本計画策定状況、中山間地域等直接支払制度と農地・水・環境保全向上対策事業、食育推進計画、特定法人貸付事業等の説明

を受けた。この中で特定法人貸付事業について、各委員から取り組みに対し慎重な対応が必要という意見が出された。



4月20日オープン予定の「道の駅」

### 建設常任委員会

新年初の委員会を2月18日開催し、名寄市道路占用料徴収条例の一部改正についての説明。1月末現在の除排雪状況、19年度の建設水道部所管建設事業について報告を受けた。名寄市道路占用料徴収条例の一部改正の内容は、地価水

準の下落と合併の進展に伴うものであり、これにより市の道路占用料収入が39.8%の減収となる見込と報告があった。



### 議会運営委員会

委員会は第1回を1月22日に開催し、平成19年第1回臨時会の日程を決めた。2回目を2月22日に開き、第1回定例会の会期を2月25日から19日間と決定。また、予算審査特別委員会の正副委員長の人事案と、議会改革調査特別委員

会の協議結果を確認した。その後、2回の委員会を開き、道路特定財源の確保に関する意見書を定例会初日提案とした。



## へこたれない



### ガンコで……

西6南9 森川 雅子

平成3年からレディースミドリヤを任せられ17年たとうとしています。バブル時代も(当時、札幌三越勤務)今も変わらず、お洒落を楽しむ女性が多い事を嬉しく思います。お洒落は発見→チャレンジ→習得の繰り返しかもしれません。出来れば実年齢70歳!でも見た目マイナス10歳になりたいものです。

お客様の多くは人生の先輩です。会話の中では洋服の好みは勿論、人柄や人生観までも触れる事もあり日々勉強です。これからも人との繋がりを大切にしながら心が通ういい仕事をしていきたいと思ひます。どこか頑固な洋服屋で在りたい。時代や流行が変わり続けても……。



### 日々に感謝

風連町南町 山崎 弘子

当麻発?才~風連着50年。走馬燈のように過ぎ去るも、時代毎に何事にも挑戦?お客様に教えられ、支えられ、喜びを与えて戴き今日に至っております。若い人達の会話にも新時代を感じ、これもまた時代のニーズに挑戦?私の夏の楽しみは朝日を浴びながらの趣味の菜園、草花作り、雪解けが待ち遠しい比頃。

体を動かすことが大好き。仕事の合間を見つけて年配者宅を時々訪れることも私の健康法。体力が続く限り喜びを積んで軽トラックで走り回りたいと心掛けております。又、この春道内各所にある道の駅に風連も仲間入り、往来するお客様に風連を運んで下さる事を期待し願う一人です。

### 議会日誌

- 12月20日・議会報特別委員会
- 1月9日・民生常任委員会
- 11日・議員会新年研修会
- 16日・議長会宗谷線部会(土別市)
- 18日・各会派代表者会議
- 21日・議会運営委員会
  - ・第1回臨時会
  - ・議員協議会
- 23日・議会改革調査特別委員会
- 25日・総務文教常任委員会
- 2月4日・全国市議会議長会産業経済委員会正副委員長会議(市内)
- 5日・道路特定財源の確保を求める全道総決起大会(札幌市)
- 6日・全国市議会議長会総会(東京都)
  - ・総務文教常任委員会
- 7日・全国市議会議長会理事会(東京都)
- 8日・民生常任委員会
- 12日・経済常任委員会
- 14日・全国市議会議長会産業経済委員会(東京都)

- 15日・各会派代表者会議
- 18日・各会派代表者会議
  - ・総務文教常任委員会
  - ・建設常任委員会
- 22日・議会運営委員会
  - ・議会報特別委員会
  - ・経済常任委員会
- 25日・議会運営委員会

### 編集後記

中国の冷凍食品残留農薬問題、諸物価の高騰、イージス艦と漁船の衝突沈没事故など暗いニュースが続きましたが、一方で今年は洞爺湖サミットや北京オリンピックも開催されます。その意味でも、希望と夢を実現するとともに、安心安全な生活を心から望みたいものです。

第1回定例会は、代表質問5名33項目、一般質問12名37項目について、理事者の姿勢がただされました。予算審査特別委員会でも、市民の皆さんの思いや願いを反映するべく激論が交わされました。この1年も活発に意見を交わす議会にご注目ください。(健)

